プレスリリース

3D Systems、3D プリンティング分野で飛躍を遂げた 1 年を締めくくる Formnext 2026 に出展

- Formnext 2026 では、新たな MultiJet 技術やワックス材料、ダイレクト金属 3D プリンティング技術、ソフトウェアを発表し、同社の 2026 年の取り組みを締めくくります
- 航空宇宙・防衛、ヘルスケア、デンタル分野への重点的な投資と戦略的な取り組みを通じて、顧客に先進的なツールと技術を提供します
- 11 月 17 日～ 20 日に開催される Formnext 2026 では、ホール 11.0（ブース D11）の 3D Systems の展示ブースにぜひお立ち寄りください

サウスカロライナ州ロックヒル、2026 年 11 月 16 日 – 3D Systems（NYSE：DDD）は本日、マルチジェット 3D プリンタ「MJP 300」、ダイレクト金属 3D プリンティング向けの新たな粉末管理システム「TSR（Transport-Sieve-Reload）」、およびデジタル著作権管理（DRM）ツールを含む「3D Sprint」ソフトウェアの機能拡充を発表しました。さらに、3D Systems は、3D プリンティング技術を活用したジェット義歯ソリューションやヘルスケアソリューションへの重点投資を継続するとともに、航空宇宙・防衛分野における製造体制の強化に向け、戦略的パートナーシップの推進や施設の拡充にも取り組んでいます。

「当社は過去 18 か月にわたり、3D プリンティングの成長と需要が集中するヘルスケア、デンタル、航空宇宙・防衛分野を中心に、人材、施設、材料、技術への重点的な投資を進めてきました」と、3D Systems の社長兼 CEO である Jeff Graves 博士は述べています。その結果、NextDent ジェット義歯ソリューションの発売と認可取得、ワックス鋳造パターンシステム「MJP 300W Plus」の発売、3D プリンティング技術を活用したヘルスケア ソリューションに関する米国 FDA および EU での複数の認可取得、新たな光造形プラットフォームの導入、航空宇宙・防衛分野の顧客向け生産施設の拡充など、戦略上の重要な成果を数多く達成しました。今回の Formnext での発表も、お客様への画期的なソリューションの提供を目指して進めてきた、こうした重点的な戦略と取り組みの成果です。

Formnext 2026 で発表される、3D Systems の 2026 年の製品開発を締めくくる新製品：

新しい MJP 300 プラスチック 3D プリンタが、次世代の生産性を実現

MJP 300 は、プラスチック 3D プリント部品の迅速な生産に向け、より高速かつ容易な操作を実現することを目的とした次世代マシンです。このモデルには追加の造形モードが用意されており、部品の輪郭のシャープさや表面の滑らかさ、造形速度を用途に応じて選択できます。MJP 300 には、ESA/IEC 規格への準拠をサポ

ートする強化されたサイバーセキュリティ機能、データ処理の高速化を実現する改良型電子部品に加え、新たなソフトウェアや複数の装置を一元管理するためのツールが搭載されています。この 3D プリンタは、3D Systems の MJP 技術が誇る高い信頼性を継承しながら、サポート材の使用量削減や、より簡単で人手を介さない後処理工程により、作業効率のさらなる向上を実現します。

MJP 300 の主な特徴：

- M2P-CST クリスタル材料が、XHD モードに加え、高精細な造形物を高速で製作できる HD モードにも対応
- M2R 材料ラインアップの拡充と、各材料でより精細な造形を可能にする XHD モードの追加。
- HD、UHD（Ultra HD）、XHD（Extreme High Resolution）の各造形モードによる、16 ミクロンのレイヤー、解像度 1600 × 900 dpi での部品の造形。
- MJP 300 の造形領域全体（294 × 211 × 144 mm、11.6 × 8.3 × 5.6インチ）を活用した大型部品の造形と、造形領域を 3 つのレーンに分割できる独自の機能。これにより、小型部品や高さのある部品を 1 つのレーンにまとめて造形でき、品質を維持しながら生産速度を最大限に高めることが可能に。
- 当初は、5 種類の VisiJet（M2P-Crystal、M2R-WH、M2R-CL、M2R-TN、M2R-HT90）® アクリレート系材料に対応し、今後さらに対応材料を拡充する予定です。
- 業界をリードするプリンタ管理ソフトウェア「3D Sprint」に対応。同ソフトウェアには、3D データの知的財産権を保護するデジタル著作権管理（DRM）ツール「.finite」が新たに追加されています。
- 3D Systems 製の 3D プリンタの監視・管理を行う新たな装置管理ソフトウェア「AddiTrak™」に対応します。

「MJP 300は、マルチジェット 3D プリンティングに新たな時代を切り開く製品です」と、3D Systems の製品担当副社長兼テクニカルフェローである Martin Johnson 氏は述べています。「電子部品とソフトウェアの改良により、拡張性に優れたプラットフォームを通じて、精度、表面仕上げ、使いやすさ、セキュリティのさらなる向上を実現し、お客様に提供します。」

MJP 300 は、Formnext 2026 で展示され、2027 年第 1 四半期に販売開始となる予定です。

TSR：回収から再利用まで一クローズドループフィードバックの金属粉体管理

TSR（Transport-Sieve-Reload）モジュールは、移動式の閉ループ型粉末管理ソリューションで、DMP Flex 350 金属 3D プリンタに接続することで、不活性雰囲気下での粉末の回収、ふるい分け、再循環を可能にします。この統合ワークフローにより、粉体の再利用に必要な品質を維持するとともに、作業者と粉体との接触を最小限に抑え、プロセス全体を通じて不活性条件を維持できます。本ソリューションは、3D Systems の革新的な技術と、Russell Finex 社の実績ある粉体処理技術を組み合わせたものです。1 台の TSR モジュールを複数の対応プリンタで共用でき、3D Systems が提供する DMP Flex 350 プラットフォーム向け粉体管理ワークフローの新たな選択肢となります。

「金属アディティブマニュファクチャリングの製造工程は、それぞれ異なります。だからこそ、当社は、お客様がそれぞれの生産環境や運用要件、事業拡大計画に最適な方法を選択できるよう、柔軟性の高い粉体管理ソリューションを幅広く開発してきました」と、Martin Johnson 氏は述べています。「3D Systems の革新的な技術と、Russell Finex などの信頼できる業界パートナーが持つ実績ある技術を組み合わせることで、お客様が既存の業務をさらに発展させ、ニーズの変化に柔軟に対応できるワークフローを導入できるよう支援しています。「Formnext では、金属 3D プリンティング用粉体の回収、ふるい分け、再循環を一貫した不活性条件下で行い、回収から再利用までの全工程を通じて低酸素状態を維持できる TSR ソリューションを展示しています。」

TSR モジュールはご購入いただけます。

3D Sprint ソフトウェアのアップデートにより、新たなサイバーセキュリティ機能と DRM 機能を追加

3D Systems のプロフェッショナル向け 3D プリントソフトウェアがアップデートされ、同社の最新 3D プリンタ向けに、新たなサイバーセキュリティ機能とデジタル著作権管理ツールが利用可能になりました。

3D Sprint Pro で利用できる「.finite™」ツールセットは、3D プリントデータの共有時における不正アクセスの防止、改ざんの抑制、データの完全性の検証に加え、指定された期間内に特定のワークステーションで実行できる 3D プリントの回数を制御することで、お客様の 3D プリントデータに関する知的財産権を保護します。

.finite は、まずワックス 3D プリンタ「MJP 300W」とアクリレート 3D プリンタ「MJP 300」向けに提供され、2027 年初頭には対応機種をさらに拡大する予定です。

3D プリントされたワックス鋳造パターン向け、MJP 300W Plus 対応の新しい工業用ワックスキット

2025 年第 3 四半期の発売以来、MJP 300W Plus は、優れた使いやすさ、効率性、精度、高い信頼性により、ジュエリー用ワックス鋳造パターンの製造分野で業界をリードしてきました。航空宇宙分野などで、本システムを活用した大型ワックス鋳造パターンの製造に対する関心が高まっていることを受け、3D Systems は、VisiJet Wax Jewel Red 材料を使用して大型ワックス鋳造パターンを製造できる新たな工業用ワックスキットを発売しました。

「本装置は、ジュエリー向けの非常に精緻で複雑な形状をワックスで造形できることから、すでに広く採用されています。さらに、大型のワックス鋳造パターンを高精度かつ優れた表面仕上げで、簡単かつ迅速に製作できる点でも、航空宇宙業界から注目を集めています」と Johnson 氏は述べています。「高い延性、耐久性、柔軟性を備えた VisiJet® Wax Jewel Red を大型部品の製作に活用することは、この材料の用途をさらに広げる自然な流れと言えます。」

この新しい工業用ワックスキットは、現在販売中です。

これらの新製品をはじめ、さまざまな製品をホール 11.0 の 3D Systems ブース (D11) でご覧いただけます。

3D Systems について

約 40 年前、Chuck Hull が抱いた好奇心と製品の設計・製造方法の改善に対する意欲が、3D プリンティング、3D Systems、アディティブマニュファクチャリング業界を生み出しました。以来、その情熱に突き動かされた 3D Systems のチームは、お客様と共に業界のイノベーションのあり方を変える努力を続けています。総合的なソリューションパートナーとして、医療やデンタル、航空宇宙・防衛、輸送、モータースポーツ、データセンターインフラストラクチャ、耐久消費財などの高付加価値市場に、業界をリードする 3D プリントテクノロジー、材料、ソフトウェアを提供しています。各アプリケーション固有のソリューションは、より良い未来に向けて製造業を変革するという共通の目標を達成するために努力する当社従業員の専門知識と情熱によって実現されています。当社の詳細については、www.3dsystems.com. をご覧ください。

将来の見通しに関する記述

本リリースに記載されている記述のうち、歴史的事実または現在の事実に関するものを除く記述は、1995 年米国私募証券訴訟改革 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に定義される「将来予想に関する記述」 (forward-looking statements) に該当します。これには製品上市の時期、規制当局の承認、市場機会、予想される収益への影響、株主価値に関する記述が含まれます。将来の見通しに関する記述には、当社の実際の結果、業績または成果が過去の結果あるいは将来の見通しに関する記述によって明示または暗示される将来の結果または予測と大幅に異なる可能性がある既知および未知のリスク、不確実性およびその他の要因が含まれます。多くの場合、将来の見通しに関する記述は、「確信する」、「信念」、「期待する」、「可能性がある」、「はすである」、「推定する」、「意図する」、「予期する」または「予定

である」などの用語あるいは類似用語の否定形により特定できます。将来の見通しに関する記述は、経営陣の信念、仮定、および現状の期待に基づくものであり、ビジネスに影響を与える事象や傾向に関する会社としての信念や期待を含む場合もあり、必ずしも不確かなものではありませんが、多くは会社に管理できる範囲を超えるものです。3D Systems の米国証券取引委員会への定期提出書類の見出し「将来の見通しに関する記述」および「リスク要因」に記載されている要因、およびその他の要因により、実際の結果は将来の見通しに関する記述に反映または予測された結果と大幅に異なる可能性があります。経営陣は将来の見通しに関する記述に反映された期待が合理的であると確信していますが、将来の見通しに関する記述は将来の業績や結果を保証されるものでも、信頼されるべきものでもありません。また、そのような業績や結果が達成される時期を正確に示すものであるとは必ずしも証明されません。記載された将来の見通しに関する記述は、記載日時点のものです。3D Systems は、将来の展開、その後の出来事または状況あるいはその他の結果にかかわらず、経営陣によって、または経営陣に代わって示された将来の見通しに関する記述を更新する、または見直す義務を負いません。

投資に関するお問い合わせ: investor.relations@3dsystems.com

メディア関係のお問い合わせ: press@3dsystems.com

###